

社会福祉法人 上越老人福祉協会定款

第 1 章 総 則

(目 的)

第1条 この社会福祉法人（以下「法人」という。）は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。

(1) 第一種社会福祉事業

(イ) 特別養護老人ホームの経営

(ロ) 軽費老人ホームの経営

(2) 第二種社会福祉事業

(イ) 老人短期入所事業の経営

(ロ) 老人デイサービス事業の経営

(ハ) 生活困難者に対して、無料又は低額な費用で介護保険法に規定する介護老人保健施設を利用させる事業の経営

(ニ) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営

(ホ) 小規模多機能型居宅介護事業の経営

(ヘ) 障がい福祉サービス事業の経営

(名 称)

第2条 この法人は、社会福祉法人上越老人福祉協会という。

(経営の原則)

第3条 この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2 この法人は、地域社会に貢献する取り組みとして、(地域の独居高齢者、子育て世帯、経済的に困窮する者等)を支援するため、無料又は低額な料金で福祉サービスを積極的に提供するものとする。

(事務所の所在地)

第4条 この法人の事務所を新潟県上越市大字上真砂219番地に置く。

第 2 章 評議員

(評議員の定数)

第5条 この法人に評議員7名以上9名以内を置く。

(評議員の選任及び解任)

第6条 この法人に評議員選任・解任委員会を置き、評議員の選任及び解任は、評議員選任・解任委員会において行う。

2 評議員選任・解任委員会は、監事1名、事務局員1名、外部委員1名の合計3名で構成する。

3 選任候補者の推薦及び解任の提案は、理事会が行う。評議員選任・解任委員会の運営についての細則は、理事会において定める。

4 選任候補者の推薦及び解任の提案を行う場合は、当該者が評議員として適任及び不適任と判断した理由を委員に説明しなければならない。

5 評議員選任・解任委員会の決議は、委員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。但し、外部委員の1名以上が出席し、かつ、外部委員の1名以上が賛成することを要する。

(評議員の資格)

第7条 社会福祉法第40条第4項及び第5項を遵守するとともに、この法人の評議員のうちには、評議員のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者(租税特別措置法施行令第25条の17第6項第1号に規定するものをいう。以下同じ。)の合計数が、評議員総数(現在数)の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

(評議員の任期)

第8条 評議員の任期は、選任後4年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 評議員は、第5条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお評議員としての権利義務を有する。

(評議員の報酬)

第9条 評議員に対して、別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬として支給することができる。

第 3 章 評議員会

(構成)

第10条 評議員会は、全ての評議員をもって構成する。

(権限)

第11条 評議員会は、次の事項について決議する。

- (1) 理事及び監事の選任又は解任
- (2) 理事及び監事の報酬等の額
- (3) 理事及び監事並びに評議員に対する報酬等の支給の基準
- (4) 計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認
- (5) 定款の変更

- (6) 残余財産の処分
 - (7) 基本財産の処分
 - (8) 社会福祉充実計画の承認
 - (9) 事業計画及び収支予算
 - (10) 臨機の措置（予算外の新たな義務の負担及び権利の放棄）
 - (11) 公益事業・収益事業に関する重要な事項
 - (12) 解散
 - (13) その他評議員会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項
- (開催)

第12条 評議員会は、定時評議員会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第13条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 評議員は、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び召集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

(決議)

第14条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定に関わらず、次の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 定款の変更

(3) その他法令で定められた事項

- 3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、各候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第16条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。
- 4 第1項及び第2項の規定にかかわらず、評議員（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、評議員会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第15条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

- 2 議長及び会議に出席した評議員のうちから選出された議事録署名人2名がこれに署名し、又は記名押印する。

第4章 役員及び職員

(役員の定数)

第16条 この法人には、次の役員を置く。

(1) 理事 6名以上8名以内

(2) 監事 2名以内

2 理事のうち1名を理事長とする。

3 理事長以外の理事のうち、4名を業務執行理事とする。

(役員の選任)

第17条 理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 理事長及び業務執行理事は、理事会の決議により理事の中から選定する。

(役員の資格)

第18条 社会福祉法第44条第6項を遵守するとともに、この法人の理事のうちには、理事のいずれか一人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数(現在数)の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 社会福祉法第44条第7項を遵守するとともに、この法人の監事には、この法人の理事(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)及び評議員(その親族その他特殊の関係がある者を含む。)並びに、この法人の職員が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係がある者であってはならない。

(理事の職務及び権限)

第19条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事長は、法令及びこの定款の定めるところにより、この法人を代表し、その業務を執行し、業務執行理事は理事会において別に定めるところによりこの法人の業務を分担執行する。

3 理事長及び業務執行理事は、毎会計年度に4箇月を超える間隔で2回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第20条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、この法人の業務及び財産の状況を調査することができる。

(役員の任期)

第21条 理事又は監事の任期は、選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとし、再任を妨げない。

2 理事又は監事は、第16条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事として権利義務を有する。

(役員の解任)

第22条 理事又は監事が、次のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき。

(2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき。

(役員の報酬等)

第23条 理事及び監事に対して、評議員会において別に定める総額の範囲内で、評議員会で別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬として支給することができる。

(職員)

第24条 この法人に、職員を置く。

2 この法人の設置経営に関する施設の長他の重要な職員（以下「施設長等」という。）は、理事会において、選任及び解任する。

3 施設長等以外の職員は、理事長が任免する。

第 5 章 理事会

(構成)

第25条 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第26条 理事会は、次の職務を行う。ただし、日常の業務として理事会が定めるものについては理事長が専決し、これを理事会に報告する。

(1) この法人の業務執行の決定

(2) 理事の職務の執行の監督

(3) 理事長及び業務執行理事の選定及び解職

(招集)

第27条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

(決議)

第28条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定に関わらず、理事（当該事項について議決に関わることができるものに限る。）の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、理事会の決議があったものとみなす。

(議事録)

第29条 理事会の議事については、法令に定めるところにより、議事録を作成する。

2 当該理事会に出席した理事長及び監事は、前項の議事録に署名し、又は記名押印する。

第 6 章 資産及び会計

(資産の区分)

第30条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、その他財産、公益事業用財産及び収益事業用財産の4種とする。

2 基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。

- (1) 定期預金 100万円
- (2) 新潟県上越市大字上真砂字千刈 216番1 1,472.14㎡、同216番5 39.83㎡、同216番6 196.45㎡、同216番7 82.68㎡、同219番 3,088.00㎡、同219番1 72.22㎡、同219番2 76.80㎡、大字北新保字屋敷添 20番1 106.30㎡、同20番3 252.00㎡、大字杉野袋字野畔 304番1 2,596.51㎡、同304番5 89.85㎡、同304番6 322.57㎡、同307番1 818.00㎡、同307番2 33.00㎡、同307番3 28.00㎡、307番4 2.61㎡、同307番5 28.84㎡、同307番6 2.52㎡、同308番 816.00㎡、同308番1 13.20㎡、同308番2 55.20㎡、同308番3 1.80㎡に所在するいなほ園本館及びいなほ園別館敷地
- (3) 新潟県上越市新南町28番3 13,263.26㎡、同市子安1388番 2.91㎡、同1389番 824.78㎡に所在する介護老人保健施設高田の郷及びグループホーム敬寿敷地
- (4) 新潟県上越市大字北新保字野畠55番3 667.12㎡、同所字屋敷添44番6 403.65㎡、同105番 165㎡に所在するグループホームなかよし寿の家敷地
- (5) 新潟県上越市大字下荒浜字冥加場843番 448.23㎡、同844番1 132.23㎡、同844番2 89.25㎡、同844番3 6.61㎡、同845番2 119.00㎡、同846番1 426.44㎡、同847番 398.41㎡に所在するグループホーム百寿の家敷地
- (6) 新潟県上越市本町二丁目字横158番5 207㎡、同158番6 44㎡、同158番7 57㎡に所在する駐車場敷地（本町楽寿の家用駐車場）
- (7) 新潟県上越市平成町338番 15.99㎡、同339番 312.04㎡、同340番 206.40㎡、同341番 121.63㎡に所在するグループホーム宝寿の家敷地
- (8) 新潟県上越市大字米岡字地藏久保434番1 1031.40㎡、同434番2 899.17㎡に所在する介護老人福祉施設米岡の郷の敷地同463番2 222㎡、同465番1 202㎡、同466番 89㎡、同467番 19㎡、同468番 419㎡、同469番 429㎡、同470番1 405㎡、同471番1 21㎡、同472番1 198㎡、同473番3 11㎡、同463番3 23.11㎡、同463番4 272.16㎡、同465番4 22.89㎡、同470番7 0.18㎡、同470番8 1.23㎡、同471番4 19.15㎡、同472番6 60.28㎡、同472番7 24.87㎡、同473番4 16.77㎡に所在するはさ木研修センター及び駐車場敷地
- (9) 新潟県上越市西城町2丁目字新中殿55番1 1,074.45㎡に所在する駐車場敷地（特別養護老人ホームさくら聖母の園及びケアハウスさくらの郷用）
- (10) 新潟県上越市大貫2丁目1196番2 1,597.29㎡に所在するデイホーム金

谷の敷地

- (11) 新潟県上越市大字杉野袋字畔304番地1に所在する鉄骨・鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 いなほ園本館 6420.13 m²
 - (12) 新潟県上越市大字上真砂字千刈219番地に所在する鉄骨造陸屋根3階建 いなほ園別館 2, 558.81 m²
 - (13) 新潟県上越市新光町3丁目296番地1に所在する鉄筋コンクリート造陸屋根3階建 特別養護老人ホーム新光園 3,638.20 m²
 - (14) 新潟県上越市新南町28番地3に所在する鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺2階建 介護老人保健施設高田の郷 4,857.89 m²
 - (15) 新潟県上越市新南町28番地3に所在する鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 グループホーム敬寿 372.36 m²
 - (16) 新潟県上越市平成町340番地に所在する木造亜鉛メッキ鋼板葺平家建 グループホーム宝寿の家 195.28 m²
 - (17) 新潟県上越市大字北新保字野畠55番地3に所在する木造ステンレス鋼板葺平家建 グループホームなかよし寿の家 466.63 m²
 - (18) 新潟県上越市大字下荒浜字冥加場846番地1に所在する木造ステンレス鋼板葺平家建 グループホーム百寿の家 498.70 m² 同物置 9.93 m²
 - (19) 新潟県上越市本町二丁目字府古町2番地1に所在する鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根4階建 本町楽寿の家 専有面積 449.08 m² (一棟の建物面積1, 396.03 m²)
 - (20) 新潟県上越市大字米岡字地藏久保434番1に所在する鉄骨造陸屋根2階建介護老人福祉施設米岡の郷 1761.63 m²
同468番に所在する鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平家建 はさ木研修センター 264.60 m²
 - (21) 新潟県上越市西城町2丁目字中殿町通30番地1、字新中殿52番地4に所在する鉄筋コンクリート造・陸屋根5階建 特別養護老人ホームさくら聖母の園及びケアハウスさくらの郷 4614.63 m²
 - (22) 新潟県上越市大貫2丁目1196番地2に所在する鉄骨造合金メッキ鋼板葺平屋建 デイホーム金谷 410.50 m² 同車庫 59.62 m²
- 3 その他財産は、基本財産、公益事業用財産及び収益事業用財産以外の財産とする。
- 4 公益事業用財産及び収益事業用財産は、第39条に掲げる公益を目的とする事業及び第40条に掲げる収益を目的とする事業の用に供する財産とする。
- 5 基本財産に指定されて寄附された金品は、速やかに第2項に掲げるため、必要な手続きをとらなければならない。
- (基本財産の処分)
- 第31条 基本財産を処分し、又は担保に供しようとするときは、理事総数(現在数)の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を得て、上越市長の承認を得なければならない。ただし、次の各号に掲げる場合には、上越市長の承認は必要としない。

- 1 独立行政法人福祉医療機構に対して基本財産を担保に供する場合
- 2 独立行政法人福祉医療機構と協調融資（独立行政法人福祉医療機構の福祉貸付が行う施設整備のための資金に対する融資と併せて行う同一の財産を担保とする当該施設整備のための資金に対する融資をいう。以下同じ。）に関する契約を結んだ民間金融機関に対して基本財産を担保にする場合（協調融資に係る担保に限る。）

（資産の管理）

第32条 この法人の資産は、理事会の定める方法により、理事長が管理する。

- 2 資産のうち現金は、確実な金融機関に預け入れ、確実な信託会社に信託し、又は確実な有価証券に換えて保管する。

（事業計画及び収支予算）

第33条 この法人の事業計画書及び収支予算書については、毎会計年度開始の日の前日までに、理事長が作成し、理事総数（現員数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も同様とする。

- 2 前項の書類については、主たる事務所及び従たる事務所に、当該会計年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

（事業報告及び決算）

第34条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

- （1）事業報告
- （2）事業報告の付属明細書
- （3）貸借対照表
- （4）収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）
- （5）貸借対照表及び資金収支計算書（資金収支計算書及び事業活動計算書）の付属明細書
- （6）財産目録

- 2 前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号及び第6号の書類については、定時評議員会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については、承認を受けなければならない。

- 3 第1項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間、また、従たる事務所に3年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款を主たる事務所及び従たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

- （1）監査報告
- （2）理事及び監事並びに評議員の名簿
- （3）理事及び監事並びに評議員の報酬等の支給の基準を記載した書類
- （4）事業の概要等を記載した書類

（会計年度）

第35条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日をもって終わる。

(会計処理の基準)

第36条 この法人の会計に関しては、法令等及びこの定款に定めのあるもののほか、理事会において定める経理規程により処理する。

(臨機の措置)

第37条 予算をもって定めるもののほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事総数（現在数）の3分の2以上の同意及び評議員会の承認が必要である。

(保有する株式に係る議決権の行使)

第38条

この法人が保有する株式（出資）について、その株式（出資）に係る議決権を行使する場合には、あらかじめ理事会において理事総数（現在数）の3分の2以上の承認を要する。

第 7 章 公益を目的とする事業

(種 別)

第39条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。

- (1) 居宅介護支援事業
- (2) 介護保険法に定める訪問調査の受託事業
- (3) 地域包括支援センター（地域連携連絡票の作成等含）の受託事業
- (4) 高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）生活援助員派遣等の受託事業
- (5) 認知症介護実践者等養成研修の受託事業
- (6) 介護員養成研修事業

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

第 8 章 収益を目的とする事業

(種別)

第40条 この法人は、社会福祉法第26条の規定により、次の事業を行う。

- (1) 不動産貸付業

2 前項の事業の運営に関する事項については、理事総数の3分の2以上の同意を得なければならない。

(収益の処分)

第41条 前項の規定によって行う事業から生じた収益は、この法人が行う社会福祉事業又は公益事業（社会福祉法施行令（昭和33年政令第185号）第13条及び平成14年厚生労働省告示第283号に掲げるものに限る。）に充てるものとする。

第 9 章 解散

(解散)

第 4 2 条 この法人は、社会福祉法第 4 6 条第 1 項第 1 号及び第 3 号から第 6 号までの解散事由により解散する。

(残余財産の帰属)

第 4 3 条 解散（合併又は破産による解散を除く。）した場合による残余財産は、評議員会の決議を得て、社会福祉法人並びに社会福祉事業を行う学校法人及び公益財団法人のうちから選出されたものに帰属する。

第 10 章 定款の変更

(定款の変更)

第 4 4 条 この定款を変更しようとするときは、評議員会の決議を得て、上越市長の認可（社会福祉法第 4 5 条の 3 6 第 2 項に規定する厚生労働省で定める事項に係るものを除く。）を受けなければならない。

2 前項の厚生労働省で定める事項に係る定款の変更をしたときは、遅滞なくその旨を上越市長に届けなければならない。

第 11 章 公告の方法その他

(公告の方法)

第 4 5 条 この法人の公告は、社会福祉法人上越老人福祉協会の掲示場に掲示するとともに、官報、新潟日報又は電子広告に掲載して行う。

(施行細則)

第 4 6 条 この定款の施行についての細則は、理事会において定める。

付 則

この法人の設立当初の役員は、次のとおりとする。ただし、この法人の設立後遅滞なく、この定款に基づき、役員の選任を行うものとする。

理事長 川室 道隆

理 事 岩田 稔・植木 信夫・仲條 勇一郎・徳山 ミサヲ・岩沢 久雄
和田 武雄・宮本 巖・岩崎 良悟・相沢 一彦・山崎 正信

監 事 寺田 憲三・渡辺 丙一

付 則

この定款は、平成12年 4月 1日から施行する。
この定款は、平成12年10月16日から施行する。
この定款は、平成12年12月 4日から施行する。
この定款は、平成13年 3月23日から施行する。
この定款は、平成13年 4月 1日から施行する。
この定款は、平成14年 1月16日から施行する。
この定款は、平成14年 3月11日から施行する。
この定款は、平成15年 3月 3日から施行する。
この定款は、平成16年 3月 1日から施行する。
この定款は、平成17年 1月 1日から施行する。
この定款は、平成17年 9月28日から施行する。
この定款は、平成18年 4月 1日から施行する。
この定款は、平成19年 4月 5日から施行する。
この定款は、平成19年 6月27日から施行する。
この定款は、平成20年 5月 1日から施行する。
この定款は、平成22年 1月 7日から施行する。
この定款は、平成23年 5月25日から施行する。
この定款は、平成23年 8月11日から施行する。
この定款は、平成24年 5月 8日から施行する。
この定款は、平成25年 5月30日から施行する。
この定款は、平成26年 1月21日から施行する。
この定款は、平成27年12月28日から施行する。
この定款は、平成29年 4月 1日から施行する。
この定款は、平成30年 1月12日から施行する。
この定款は、平成30年11月16日から施行する。
この定款は、令和 元年 7月 4日から施行する。
この定款は、令和 2年 4月22日から施行する。
この定款は、令和 4年 7月 8日から施行する。
この定款は、令和 6年 4月 1日から施行する。
この定款は、令和 8年 5月18日から施行する。